

けん おう 県央の農林業



石川県県央農林総合事務所

〒920-8214 石川県金沢市直江南2丁目1番地

URL <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kenounourin/>

管 理 部	TEL(076)239-1750 FAX(076)239-1720
農 業 振 興 部	TEL(076)239-1751 FAX(076)239-1730
土 地 改 良 部	TEL(076)239-1752 FAX(076)239-1730
森 林 部	TEL(076)239-1753 FAX(076)239-1720

津幡農林事務所

〒929-0325 河北郡津幡町字加賀爪又111-1

地域農業振興課 TEL(076)289-4158 FAX(076)288-8256

令和5年6月発行

管内の概要

管内は、南北に細長く伸びる石川県の中央部に位置し、金沢祖、かほく市、津幡町、内灘町の2市2町を区域としており、県土面積の約16%を占めています。

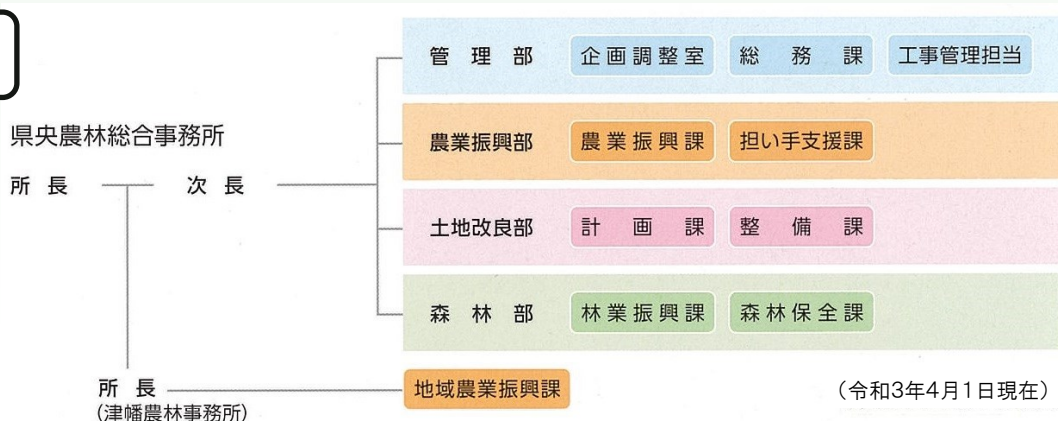
地形は、北東側に宝達山、南東側に医王山、白山山系の山間地が連なっており、西に向かって山間・山麓部、平野部、砂丘地の順に農地が開けています。

主要河川は、南部の金沢市では、犀川、浅野川、森下川の3河川が南東から北西に流下し、北部の河北地区では、津幡川が東から、宇ノ気川が北から河北潟に注ぎ、主要な用水源となっています。

農業は、平坦地の河北潟沿岸地域を中心に水稻が作付けされており、海岸沿いの砂丘地では、スイカや大根、甘藷などの他、ブドウや花きなどが生産されています。その他河北潟干拓地では、麦、大豆、野菜類の生産や、酪農が行われています。

交通体系は、北陸新幹線やJR北陸線、IRいしかわ線、JR七尾線、国道8号・159号線や北陸自動車道、里山海道が縦貫しており、県内外との流通の動脈となっています。

組織図



農業経営体 林業経営体

市町名	総人口数 (人)	農業経営体				林業経営体			
		個人 経営体	団体 経営体	法人	個人 経営体	団体 経営体	法人		
金沢市	460,201	1,384	1,327	57	42	19	13	6	5
かほく市	35,065	278	260	18	13	6	4	2	1
津幡町	36,983	350	312	38	27	13	12	1	1
内灘町	26,342	56	47	9	8	0	0	0	0
管内計	558,591	2,068	1,946	122	90	38	29	9	7
県計	1,121,036	9,890	9,293	597	468	416	374	42	35
管内/県(%)	49.8%	20.9%	20.9%	20.4%	19.2%	9.1%	7.8%	21.4%	20.0%

(2020農林業センサス)

耕地面積 森林面積

市町名	総面積	耕地面積			森林面積				
		田	畑	計	国有林	県有林	市町有林	その他	計
金沢市	46,881	2,650	779	3,430	6,469	929	190	20,505	28,093
かほく市	6,444	759	464	1,220	4	66	108	2,241	2,419
津幡町	11,059	1,430	377	1,800	16	758	38	4,825	5,638
内灘町	2,033	118	444	562	—	155	73	8	236
管内計	66,417	4,957	2,064	7,012	6,489	1,908	409	27,579	36,386
県計	418,623	33,600	6,800	40,400	34,595	10,617	5,224	235,646	286,082
管内/県(%)	15.9%	14.8%	30.4%	17.4%	18.8%	18.0%	7.8%	11.7%	12.7%

(総面積:令和5年全国都道府県市町村別面積調、耕地面積:令和4年度作物統計調査 農林水産関係市町村別統計、令和3年度石川県森林・林業便覧)

・四捨五入による端数処理のため内訳の和が計と一致しないことがある。

農村と都市をつなぐ里山保全活動

農村漁村に都市住民を受け入れるグリーン・ツーリズムやいしかわ農村ボランティア活動を通じて、農山村理解促進、里山保全、耕作放棄地の解消に取り組んでいます。



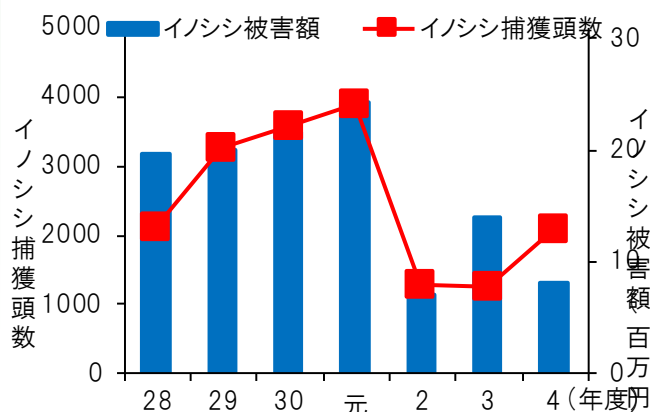
里山地域の協働活動促進セミナー
(金沢市東原町)



いしかわ農村ボランティア
さつまいも植付(金沢市小池町)

鳥獣害対策の推進

鳥獣害防止活動を集落単位の対策を推進しています。



食育・地産地消の推進

農業・農村に対する豊かな感性を持つ子供を育てていくため、「いしかわ地産地消ネットワーク」形成事業を推進しています。また、管内では食育・地産地消のための取り組みを行っています。



だいこんの収穫体験(金沢市下安原町)



加賀太きゅうりの食育教室

6次産業化の取り組みサポート

農山村には、農産物や伝統文化などの地域資源が豊富にあります。生産者が主体となって、それらの地域資源を有効活用し、生産から加工・販売などの経営の多角化を行う6次産業化の取り組みに対するサポートを行っています。



農産物のブランド化(金沢市小池町の乾燥野菜)

農業振興部

農業の振興を目指して

多様な担い手の確保・育成

- ◎企業の経営体や集落営農組織の育成・発展に努めています。
- ◎新規就農者や参入企業の営農定着を支援しています。
- ◎農地中間管理事業を活用して農地集積を進めています。



農地中間管理事業説明会

■担い手及び農地集積の状況

市 町 名	認定農業者 (人)	集落営農 組織(組織)	新規就農者 (人)	耕地面積 (ha)①	担い手集積 面積(ha)②	担い手集積 率②/①
金 沢 市	241	34	17	3,430	1,830	53%
か ほ く 市	101	14	6	1,220	910	75%
津 幡 町	90	22	1	1,880	1,166	62%
内 灘 町	41	1	3	562	486	86%
管 内 計	473	71	27	7,012	4,392	63%
県 計				40,400	25,938	64%

(農林水産省調べ 令和5年3月)

水稻の品質向上技術の普及

食味が良く外観品質の良い米づくりに向け、「うまい・きれい米づくり運動」(コシヒカリ玄米タンパク含有率6.5%以下、整粒歩合80%以上、1等米比率90%以上)に取り組んでいます。



■作物の栽培面積

[大麦、大豆の作付けは河北潟干拓地が中心]

市 町 名	水 稻	大 麦	大 豆
金 沢 市	1,860	22	42
か ほ く 市	596	43	62
津 幡 町	987	93	111
内 灘 町	90	58	85
管 内 計	3,533	216	300
県 計	23,100	1,610	1,790
管内/県(%)	15.3%	13.4%	16.8%

地域の特徴を生かした園芸産地の振興

◎砂丘地のすいか、だいこん、かんしょなどの主要品目のブランド化に取り組んでいます。

◎石川県オリジナル品種、ぶどう「ルビーロマン」フリージア「エアリーフローラ」なし「加賀しずく」の産地化に取り組んでいます。

■園芸品目の栽培面積、畜産の飼養頭数

	すいか (ha)	かんしょ (ha)	だいこん (ha)	れんこん (ha)	きゅうり (ha)	トマト (ha)	ぶどう (ha)	なし (ha)	りんご (ha)	かき (ha)	乳用牛 (頭)	豚 (頭)
作付面積	150.5	95.4	50.6	45.3	6.6	7.9	58.0	41.2	14.5	18.0	1,478	1,412
主な作付地	金沢市 河北潟干拓地 かほく市	金沢市 河北潟干拓地 かほく市	金沢市 かほく市	河北潟干拓地 金沢市	金沢市	金沢市 河北潟干拓地	かほく市 金沢市 河北潟干拓地	金沢市 河北潟干拓地	金沢市	かほく市 金沢市	河北潟干拓地	かほく市

(令和4年度 県央農林総合事務所調べ)

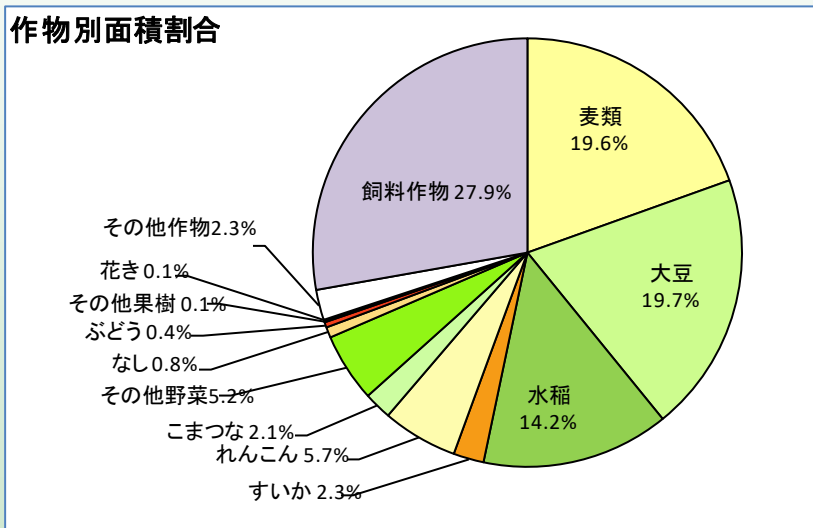
河北潟干拓地の生産振興

◎河北潟干拓地の農地は、1,071haあり、昭和61年から本格営農が開始されています。

◎麦類・大豆・水稻等の穀類や、すいか・こまつな・れんこん等の野菜、なし・ぶどう等の果樹、そして酪農が営まれており、特に麦類・大豆では大型機械を利用した大規模な生産が、酪農では乳用牛の多頭飼育が行われています。(延べ作付面積1,265ha、飼育頭数1,675頭)

◎れんこんは新規就農者が徐々に増えています。

作物別面積割合



(令和4年度 津幡農林事務所調べ)



大型機械による牧草収穫



れんこんの収穫

土地改良部

豊かな農村づくり

多様な担い手を育成する効果的な農地整備

ほ場の大区画化や排水改善による農地の汎用化を図るなど、生産性の高い農地整備を行うことにより、担い手への農地集積を促進し、地域農業の安定と発展を目指します。



県営ほ場整備事業 笠野地区 (河北郡津幡町宇鳥越)

■水田の整備状況 (単位:ha)

市 町 名	水田面積 (農振地域)	整備対象面積	整備済み面積	
			30a程度区画以上	整備率
金 沢 市	2,362	1,281	595	46.4%
か ほ く 市	689	644	508	78.8%
津 幡 町	1,294	981	884	90.1%
内 灘 町	71	71	54	76.0%
管 内 計	4,416	2,977	2,041	68.5%
県 計	31,497	27,067	22,725	83.9%

(令和5年3月末現在)

安全安心な地域づくり

老朽化しているため池等を改修し、農業用水の安定供給を図るとともに、ため池決壊等による災害を未然に防止し、農地のみならず民家、人命、公共施設等を保全しています。

■ため池整備の状況

市 町 名	ため池数	防災重点ため池	改修済数
か ほ く 市	39	24	13
津 幡 町	238	88	58
内 灘 町	—	—	—
管 内 計	458	171	78
県 計	2,223	1,183	450
管内/県(%)	20.6%	14.5%	17.3%

(令和5年3月末現在)



県営震災対策農業施設整備事業
津幡大池地区
(河北郡津幡町宇津幡)

地すべり防止区域では、地すべりによる被害の未然防止や、軽減のための対策工事等を実施し、安全・安心な地域づくりを目指します。

■地すべり防止区域

市 町 名	地区数	面積(ha)	備 考
金 沢 市	6	391.49	
か ほ く 市	1	11.12	
津 幡 町	14	631.51	実施中2地区
内 灘 町	—	—	
管 内 計	21	1,034.12	実施中2地区
県 計	84	5,300.24	実施中2地区
管内/県(%)	25.0%	19.5%	

(令和5年3月末現在)



地すべり対策事業 笠島地区
(かほく市笠島)

国営造成施設の管理(河北潟基幹施設管理所)

国営河北潟干拓建設事業(昭和38~60年度)で造成された、河北潟放水路防潮水門と4つの排水機場などの施設を維持管理しています。

防潮水門は、海水の流入防止と河北潟干拓地ならびに周辺の洪水を排除することで利水及び治水上の正常な機能を維持し、排水機場は干拓地内と西部承水路流域の排水を行っています。

名称	ポンプ諸元	
	口径(mm)×台数	排水量(m ³ /s)
内灘排水機場	800×2	2.4
	1500×2	9.8
	1500×1	5.4
津幡排水機場	1500×2	10.4
金沢排水機場	800×2	2.8
宇ノ気排水機場	800×2	2.6



名称	水門諸元		
	幅(m)	高(m)	門数
河北潟放水路防潮水門	21.5	5.3	4
	14.0	5.3	1

名称	延長(m)
幹線排水路	7,093.6
金沢排水機場取付水路	1,620.9

地域ぐるみで行う資源の保全

地域協働による農地・農業用施設の資源の保全管理や農村環境の保全向上の取り組みのほか、老朽化が進む施設の長寿命化の取り組みを支援しています。

■多面的機能支払取り組み状況

市町名	組織数	取組面積(ha)
金沢市	94	2,032
かほく市	3	913
津幡町	37	1,348
内灘町	1	338
管内計	135	4,631
県計	580	26,016
管内/県(%)	23.3%	17.8%

(令和5年3月末現在)



景観木の植樹(河北潟干拓地)

農山村地域の振興

中山間地域の農地の保全と多面的機能の確保を図るため、平坦地との生産条件の格差を補填する中山間地域等直接支払制度を推進しています。

■中山間地域等直接支払い取り組み状況

市町名	組織数	取組面積(ha)
金沢市	67	456
かほく市	5	39
津幡町	33	403
内灘町	—	—
管内計	105	899
県計	442	5,169
管内/県(%)	23.8%	17.4%

(令和5年3月末現在)



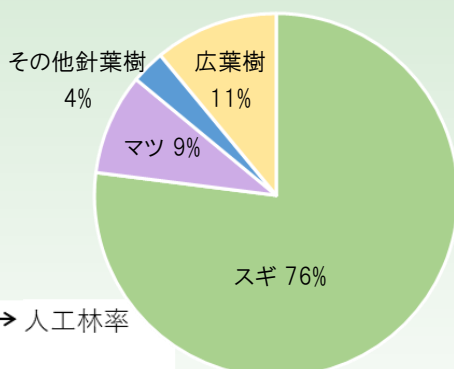
良好な管理がされている農地(河北郡津幡町池ヶ原地内)

森林部

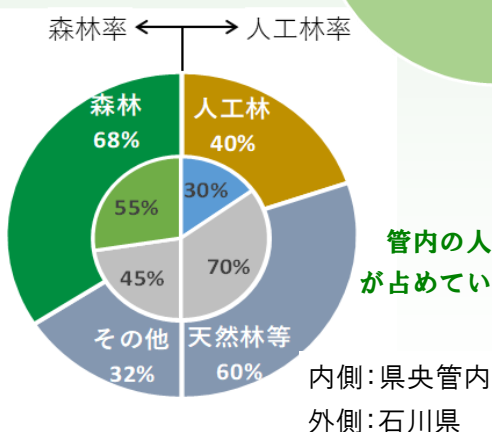
健全な森林を次世代に

管内森林の概要

管内の森林面積は36,386haで、犀川の上流域など重要な水源地域を有しており、国有林の割合が比較的高い特徴があります。



伐採した材を利用するために搬出した後のすぎ人工林(津幡町池ヶ原地内)



管内の人工林は約9,030haで、そのうち8割ほどをスギが占めています。

森林の健全な育成と県産木材の安定供給の推進

戦後に植林された人工林の多くが伐採適期を迎えるなか、今後は間伐に加えて主伐を計画的に進めるとともに、生産された県産木材を使用した住宅・店舗等への助成を行うことで、建築物への県産木材の利用を推進します。

また、いしかわ森林環境税による放置竹林の除去や野生獣等の出没を抑制するための緩衝帯整備に取り組んでいます。

■県産木材生産量の推移

(単位:m³)

市町名	種別	H30	R1	R2	R3	R4
金沢市	間伐等	1,974	2,732	2,189	3,688	2,634
	主伐	8,685	12,194	9,837	13,564	16,801
かほく市	間伐等	0	0	188	725	599
	主伐	186	0	45	1,065	1,271
津幡町	間伐等	1,406	2,393	2,230	1,755	1,189
	主伐	4,885	7,586	5,081	6,871	7,157
計	間伐等	3,380	5,125	4,606	6,168	4,422
	主伐	13,755	19,781	14,963	21,500	25,229
合計		17,135	24,906	19,570	27,668	29,651



金沢森林組合木材加工場(金沢市宮野町)

※主伐には更新伐を含む

(県央農林総合事務所調べ)

・四捨五入による端数処理のため内訳の和が計と一致しないことがある。

災害に強く県民の豊かな暮らしを支える治山施設の整備

治山事業は、山腹崩壊や土石流、地すべりなどの山地災害を未然に防止し、人家、公共施設等を保全しています。

■地すべり防止区域

地すべり防止区域名	指定年月日	面積(ha)
砂子坂	S41.4.9	17.90
奥新保	S51.4.21	121.00
熊走	H元.9.25	57.60
東原	S48.3.24	70.06
	S51.4.21	19.84
月浦	H9.2.21	7.00
山科	H6.3.19	5.40
	H16.6.29	1.30
桐山西	H27.9.7	5.13
常德	H2.10.2	59.10
倶利伽羅	S41.4.9	16.34
	S44.11.24	22.17
種	H9.2.21	7.30
三国山	H27.9.7	10.34
管内計	11区域	420.48
県計	95区域	4,796.56
管内/県(%)	11.6%	8.8%

(令和4年度末現在)

■山地災害危険地区

危険地区名	管内箇所数	県計箇所数	管内/県(%)
崩壊土砂流出危険地区	256	1,381	18.5%
山腹崩壊危険地区	173	1,525	11.3%
地すべり危険地区	27	404	6.7%
なだれ危険地区	41	234	17.5%
計	497	3,544	14.0%

(令和4年度末現在)



治山工事による山地保全(金沢市四十万町)

原木生産の低コスト化を実現する林内路網の整備

管内の林道密度は、11.3m/haとなっています。

低コスト林業の実現や林業経営の効率化を進めるため、路網の整備に取り組んでいきます。

■林道の状況

市町名	私有林面積(ha)	路線数	延長(km)	林道密度(m/ha)
金沢市	21,647	123	249.1	11.5
かほく市	2,415	8	19.5	8.1
津幡町	5,621	34	70.0	12.5
内灘町	236	0	0.0	0.0
管内計	29,919	165	338.6	11.3
県計	251,521	1,092	2,077.2	8.3
管内/県(%)	11.9%	15.1%	16.3%	

(令和3年度末現在)



林道 西山線(津幡町字牛首)

県央の農林マップ

凡例

	小麦		なし
	大豆		もも
	かぼちゃ		ストック
	トマト		けいとう
	きゅうり		ひまわり
	れんこん		ほぼたん
	だいこん		きく
	さつまいも		フリージア
	ながいも		苗木
	まこも		花木
	うめ		しいたけ
	なす		酪農
	たけのこ		間伐材
	ねぎ		

	高速道路・のり山街道
	国 主要地方道
	県 主要地方道
	農道(広域一般農用)
	境
	市 町 有
	農行 造林地
	公社分取 造林地
	公社 造林地
	県 水源かん養保安林
	県 飛砂防備保安林等
	地すべり防止区域(林)
	地すべり防止区域(農)

	県営
	農産振興部関係
	国土改良部関係
	森林部関係
	団体系

